

学校の先生へ

《学習シート（中学・高校生編）の使い方》

- ◆この学習シートは中学校の歴史教科書を既に学習し終えたレベルに設定しています。
- ◆事前学習や見学時の手引きとして、先生のご判断でご利用ください。

目的別の利用案内

- ◆どのような資料が展示されているのか紹介したい場合：各時代の**1**を印刷してご利用ください。
- ◆時代の流れやお金の変遷について学習したい場合：各時代の**2**を印刷してご利用ください。
- ◆総合的にじっくり学習したい場合：全ページを印刷してご利用ください。

◆注目してもらいたい資料や、教科書・資料集に頻出の資料をよく観察するための問題です。

◆資料の画像をヒントに考える問題などです。
◆事前学習では写真、展示室ではホンモノをみるよう促しましょう。

◆年表でおおまかな時代の流れをつかめます。

SAMPLE

古代 1

日本初！お金の発行

—金属のお金のはじまり—

1-1. 7世紀後半には、中国の銭貨を手本に日本で初めてつくられた銅銭「富本銭」、708年には「和同開珎」が発行されました。2つの銭貨の文字や模様を下の図に書き入れてみましょう。

どこが違うかな？

どちらも"銅"でできているんだ！

1-2. 右の写真にある、古代に発行された12種類の銭貨を見比べて、変化しているところを書いてみましょう。

新しくなるにつれて大きさは？ 文字は？

和同開珎 708年	万年通宝 760年	神功開宝 765年
隆平永宝 796年	富寿神宝 818年	承和昌宝 835年
長年大宝 848年	鎮益神宝 859年	貞観永宝 870年
寛平大宝 890年	延喜通宝 907年	乾元大宝 958年

古代			中世		
飛鳥時代	奈良時代	平安時代			鎌倉時代
7世紀	8世紀	9世紀	10世紀	11世紀	12世紀
○富本銭の発行		○和同開珎の発行		○国家による銭貨発行の停止	
■平城京の完成			■平安京の完成		

○お金に関わる出来事
■世の中に関わる出来事

-2-

SAMPLE

古代 2

国家によるお金の発行と挫折

—古代銭貨の移り変わり—

2-1. 古代の日本に登場したお金について、次の文の空白に当てはまる語句を下の□から選んで書き入れましょう。

日本で最初につくられた銅銭は「銭」といわれています。中国の円形に四角い穴の開いた銭貨を手本につくられました。8世紀はじめ、日本は「」（唐）の政治やしぐみにならって、律令という法制度を定め、天皇を中心とする中央集権国家を目指しました。

708年には、全国的なお金の流通を目指して、和同開珎が発行されました。銭貨は「京」建設に必要な資材の購入資金や労働者の賃金として人々の手に渡りました。10世紀半ば以降、国は銭貨を発行しなくなりました。その後、古代の人々はそれまでもお金として使ってきた「」や「」などをお金として使用しました。

布 □ 平安 □ 中国 □ 富本 □ 米 □ 平城 □

2-2. 古代に発行された13種類の銭貨は、時代が新しくなるにつれて見た目が小さく粗悪になっていきました。その原因や背景について、次の文の「」の中の正しい語句に丸をつけましょう。

- ・銭貨の原材料である「金／銀／銅」があまり取れなくなったため。
- ・平城京のような大きな都の建設が「増えた／減った」ため。
- ・人々の間で銭貨への信用が「高まった／下がった」ため。

○お金×思想 ○お金のかたちの秘密

中国では古くから、円形は「天」を表し、方形（四角形）は「地」を表すと考えられてきました。円形に四角い穴の開いた銭貨のかたちは、この思想の影響を受けたものと言われています。また、銭貨をつくる際に四角い棒を四角い穴に通して固定し、銭貨の側面を磨くのに便利であったため、このようなかたちになったとも言われています。

-3-

◆時代の流れやお金の特徴をつかむための問題です。
◆ポイントとなる言葉を書き入れます。

◆お金の變遷についてその歴史的背景などを問う発展問題です。

◆豆知識 お金にまつわる豆知識を紹介しています。

※見開き A4 サイズで出力する際は、ページ繰りがこの表示とは異なります。